

第三四回歴史探訪参加者の俳句(順不同)

令和四年十月二十二日に実施された歴史探訪ツアーは、芭蕉を中心として三島市街地の句碑を巡りました。その際に投句していただいた作品をご紹介します。表記は原文のままです。

水走る搗屋のみちの石たたき (石たたき・・せきれい) 佐藤京路

「どんどんの堰」超え豊か秋の水 佐藤京路

どんみりと秋の終はりの句碑の空 花房なお

秋の日に歌人をたづね我れ思う 坪ちゃん

水の街歌人思いて我れ思う 坪ちゃん

擦り合いて吟行の列酔芙蓉 石井充精

三島のまちどちらへ行つてもせせらぎの音 鈴木教子

うそ寒や水にゆらるる白い花 ガイド十二号

時雨忌を同好の士のゆく水辺 みすず

ねこ散歩しつぽを揺らすもみじ川 にゃんにゃん

思はざる狭間に富士や雲の秋 吉川智子